

## ～平成30年度の主なイベント～

- 7月 定期総会（7日）  
お父さんのための魚とり講座（29日）  
10月 ウォーキングイベント（27日）  
2月 講座  
3月 第14回淀川・芥川クリーンアップ大作戦

### ◇◇ 芥川俱楽部 定例活動のおしらせ ◇◇

あくあぴあ芥川付近での、魚とり、濁筋づくり、竹林整備など、子どもから大人まで、どなたでも参加することができます。お気軽にご参加ください。

▶時間：毎月第3土曜日 午前10時～12時

▶集合場所：あくあぴあ芥川 1階 水上ステージ前

時間または集合場所が変更になる場合がありますので、あくあぴあ芥川（072-692-5041）へご確認ください。



### 川での活動は・・・“芥川たのしみ隊”

「子どもたちに川で魚をとることを知ってもらいたい」「芥川にはこんな魚がいることを知ってもらいたい」「子どもでも魚とりができるとを知ってもらいたい」という思いで毎月取り組んでいます。

そして、とった魚はあくあぴあ前で毎回子どもたちを見てもらったり、さわってもらったり、ふれあう機会を作り、子どもたちの中にお魚ファン」「芥川ファン」を増やしていきます。ぜひ一緒に活動しましょう！！

### アユの溯上調査を実施！

芥川大橋上流の魚みちでの溯上調査も今年で7回目です。

4月23日から6月末まで摂南大学、たかつき環境市民会議の皆様をはじめ多くの方々に協力いただき、ボランティアによる目視調査を行いました。

調査時間中の溯上数は5000匹を超えており、あくあぴあの前でも天然アユが捕獲されています。今年は門前橋上流3ヶ所の堰に魚道が整備されたので、多くのアユが上流まで溯上することを期待しています。



芥川俱楽部では、川づくりや各種イベントと一緒に参加してくれる方を募集しています。

イベント等の情報は芥川俱楽部ブログで、紹介していますので、ぜひご覧ください。

ブログ：<http://akutariv.blog85.fc2.com/>

HP：<http://akutagawaclub.web.fc2.com/>

e-mail：[akutagawa0726@yahoo.co.jp](mailto:akutagawa0726@yahoo.co.jp)

~~~「芥川」はみんなの川です 「芥川」をきれいにしましょう ゴミを捨てないようにしましょう ~~~

## ～お父さんのための魚とり講座～

平成30年7月29日(日)午前10時～(雨天中止)

あくあぴあ芥川とネットワークの共催でお父さんのための魚とり講座を実施します。

この講座は、夏休みの始まりに、魚の上手なとり方を子どもには内緒でこっそり伝授し、お父さんたちを子どもたちのヒーローにするためのものです。

まず、お父さんたちには、芥川で魚のとり方の講習と実習を行います。その間に子どもたちは、館内の水槽で実際の魚を見ながら芥川にいる魚の勉強をします。その後、子どもたちと合流してからは、いよいよお父さんたちの腕の見せ所です。川に入って子どもたちとともに魚とりを実施します。今年は何種類の魚をとることができるか楽しみですね。



▶集合場所：あくあぴあ芥川（1階水上ステージ前）

▶講師：花崎 勝司（あくあぴあ芥川主任研究員）

▶申し込み連絡先はあくあぴあ芥川（072-692-5041）まで

▶持ち物：飲み物、濡れても良い服、靴

▶雨天中止の判断は、当日、午前7時に行います。

情報は『芥川俱楽部ブログ』

<http://akutariv.blog85.fc2.com/>に掲載します。

あなたと自然が触れ合える芥川の情報誌

# 芥川水辺だより



Vol.31  
2018年  
夏号



## 平成30年度 ウォーキングイベント開催予定！

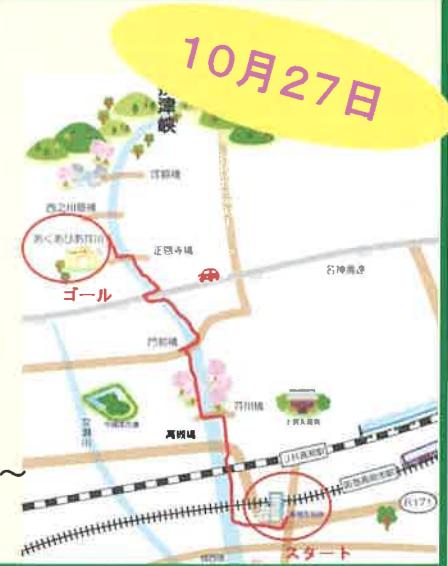
みなさんにもっと芥川を感じ、親しみを持ってもらうことを目的に、今年もウォーキングイベント『みんなで歩こう芥川 2018』を実施します。昨年度、大阪府により整備された門前橋から大蔵司橋間の遊歩道をはじめ、芥川河川敷や、桜堤公園などを歩き、芥川にまつわる自然、地形、歴史そして川のしくみについてガイドしていきます。また、新しくできた『魚みち』の目的や効果、またアユの溯上状況なども解説します。コースはおおむね平坦ですので、大人から子どもまでどなたでも参加できます。申し込み方法など詳しくは9月から10月にかけて市広報、芥川俱楽部ブログでお知らせします。

▶実施日時：平成30年10月27日(土) 10:00～12:30(予定)

▶集合場所：高槻市役所前

▶ルート：市役所～旧清掃事業所前(中川町)～芥川河川敷～JR鉄橋～西国街道(芥川橋)～桜堤公園～新遊歩道(門前橋～大蔵司橋)～あくあぴあ芥川

▶申込方法：予約制 ※詳細・受付はイベントチラシにてお知らせします。



編集・構成：芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク～愛称：芥川俱楽部  
事務局：NPO法人芥川俱楽部 ホームページ <http://akutagawaclub.web.fc2.com/> ブログ <http://akutariv.blog85.fc2.com/>  
平成30年(2018年)7月 発行：高槻市 都市創造部 下水河川企画課 TEL 072(674)7432

●芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワークは河川協力団体（国（近畿地方整備局）第2号）に認定されています●

## ～第13回淀川・芥川クリーンアップ大作戦～

平成17年度から始まった活動も今年で13回目となりました。アユが芥川を遡上する前に川をきれいにしよう、という想いから始まった清掃活動でしたが、今では淀川水系の7つのエリアで連携して実施する清掃活動「淀川水系一斉美化アクション」の一環として活動の輪を広げるなど、同じ想いを抱いて活動する仲間が増えてうれしい限りです。



今年も市民や市民団体、国土交通省淀川河川事務所、大阪府、高槻市などから総勢約340人もの参加者が集まりました。ゴミの量も、例年と同じ約400袋集まつたことから、今後もこうした取り組みを続けていくことが大切だと感じました。掃除終了後には、災害非常食の配布もありました。きれいになつた淀川・芥川を、たくさんのアユが今年も元気に遡上してくれるとうれしいですね。

3月24日

## ～ワンド観察会～

今年の唐崎ワンド観察会は水温の上がる6月に実施。約30名の参加者が集まりました。心配された雨もなく、日陰用に立てたテントが喜ばれました。5月の降水量が少なく、本流の水位も下がっていましたので、ワンドの水深は下見をした2週間前と比べてもかなり下がり、コイの背中が水から出るくらいの場所もありました。

いつものようにワンドの解説、今後の計画などについては国土交通省淀川河川事務所の川内嘉起専門官から説明を受けました。その後、各自タモ網を持って泥に足を取られそうになりながら、魚や貝などを採りました。採れたものは水槽に入れて、種類ごとに高槻市立自然博物館の花崎勝司主任研究員からその特徴や生態について詳しい解説がありました。



今回観察できた魚類はカネヒラ(稚魚)、モツゴ、タモロコ、フナの仲間、ニゴイの仲間、コイそしてブルーギルの7種でした。貝類では毎年採取できるイシガイとヒメタニシは今年も確認、他にカワニナの仲間とトンガリササノハガイの4種でした。

タナゴの仲間であるカネヒラはイシガイのような二枚貝がないと産卵・繁殖できません。今回多数のカネヒラの稚魚が採取できることは、ワンドにこの2種が共存できていることを確認したことでもあり、大きな収穫となりました。

6月2日



## ～こいのぼりフェスタ1000～

今年もこいのぼりフェスタ1000が開かれ、多くの市民や観光客でいっぱいでした。当日は、出店やダンスの発表などもあり、桜堤公園は終日にぎわっていました。また、日中は汗ができるような陽気で、子どもたちは川の中に入り、水遊びや魚とりを楽しんでいました。



4月29日

芥川倶楽部は例年どおり、芥川に棲む魚の生体展示を行い、会場に立ち寄った皆さんに魚の種類や生態について説明しました。芥川に沢山の魚がいることや、アユが遡上していることを聞いて驚いていました。

今年は川に網を設置して、子どもたちとともに追い込み漁を行いました。残念ながら成果はありませんでしたが、子どもたちは初めての経験でとても喜んでいました。

## ～あくあぴあふれあいフェスタ～

自然や教育、または芥川との触れ合いをテーマに今年も高槻市立自然博物館においてあくあぴあふれあいフェスタが開催され、ネットワーク芥川倶楽部も恒例の「魚つりゲーム」を行いました。ゲームはアユ、コイ、シマドジョウ、アメリカザリガニ、ウナギなど芥川で見られる10数種類のラミネート写真を魚に見立て、写真の先に取り付けたクリップを竹竿の糸先につけた磁石で釣り上げるものでした。結構リアリティがあって子ども達に人気です。今年は112人が楽しんでくれました。



5月26日



釣った魚については「カワヨシノボリはお腹に吸盤があって水槽に張り付くよ」とか、「オイカワは結婚間近になるとオスにきれいな模様が出るよ」など簡単に特徴を解説します。すると「へ～そんなんや」的なリアクションがあるとこっちも嬉しくなるものです。中には魚の名前をすべて覚えているリピーターの子どももいて「去年は釣った後でお土産に一尾もらえたね」と言われてドキッともしました。今年は用意できませんでした。ごめんなさい。

このような取り組みの成果なのか、毎月第3土曜に博物館前の芥川で開催している「芥川楽しみ隊（川づくり、川あそび）」に参加される子どもも増えてきました（5月19日は6名参加）。ゲームから始まって本物の魚とも触れ合えるようになれば嬉しいですね。